

「天文学将来計画検討会」についての報告

秋季年会の機会を利用して聞くことを予定されていた天文学将来計画の検討会が、10月18日午後6時より8時まで、鴨方町民会館で行われた。これと前後して、10月15日午後4時から8時までと16日午後8時から9時までの2回にわたって、紫外天文衛星の検討会が、また16日午後5時40分から8時まで大型望遠鏡の会が同所でもたれ、19日午後1時から3時にかけては、天文学研究連絡委員会の将来計画小委員会が開催された。ここにこれらの会合の概要を報告しておく。

1. 紫外天文衛星検討会 星・銀河・宇宙に関する観測目的のレビュー（寿岳）、世界および日本における観測のレビュー（山下（広））、太陽についての同様なレビュー（田中（捷））、衛星観測の諸条件と具体例（小平）、などの諸報告と自由討論が行われた。全般的には、将来計画に紫外天文衛星を加えようという意見が多く、更に具体的な検討を進めることを世話係グループに任せた。グループのメンバーは、小川原・山下（広）・田中（捷）・田中（済）・辻・寿岳・田村・定金・平田・渡辺（鉄）・小平。ご意見があればお寄せ下さい。

2. 大型望遠鏡の会 次期望遠鏡のたたき台として、山下（泰）氏より具体的な光学系の、また、清水（実）氏より機械系の説明があり、両氏の案についてコメント（小平）

があった。たたき台案は口径3m級の特徴ある汎用機という段階で、引き続き検討を待つことになった。

3. 将来計画検討会 将来計画小委員会の公開討論会で、紫外天文衛星・軌道赤外望遠鏡・地上大型光学望遠鏡・地上大型赤外望遠鏡・測光専用望遠鏡・大型太陽電波干涉計など、各分野における計画検討の経過報告、国際協力に関する検討状況、教育および研究体制に関する検討予定の報告がなされ、質疑応答、一般討論が行われた。討論では具体案の出ている大型望遠鏡計画に多くの時間がさかれ、かなりの意見の収束をみたが、さらに検討を重ねることとなった。

4. 将来計画小委員会 検討会の討論が装置関係に集中したので、まず研究体制と教育の問題について意見交換が行われた。次いで国際協力や飛翔体による天文観測に関する研究体制について議論のち、緊急を要する大型望遠鏡計画の問題が検討された。将来計画全体の中での次期望遠鏡の位置づけなど、残っている問題点の見通しを、12月に開かれる研究連絡委員会の頃を目標として煮つめることとした。次回は12月17日に開催の予定。

昭和54年10月20日

天文学研究連絡委員会・将来計画小委員会
(連絡係 小平桂一)



定価320円(税込49円) 80-2月号・12月27日発売!

●2月号のおもな内容

★1980年は天界と地上で二つの50周年があります。一つは冥王星の発見50年です。1930年2月にローワエル天文台で発見されています。もう一つは京都大学花山天文台設立50年です。この両方に深い関係のある、宮本正太郎先生の解説です。

★2月の末には火星の衝、水星の東方最大離角、アルデバランの食と天文現象もにぎやか。おなじみの白河天体観測所の観測ガイドです。

★小口径シュミットはアマチュアの関心のまとですが、10月27日に開かれた、シュミットカメラを語る会の様子を紹介します。



●藤井旭=企画・構成/定価5800円/好評発売中!

本だけでは理解しにくい、星座の見つけ方・楽しみ方を解説のテープと星座図などで立体的に構成。星座を学ぼうとする方や、学校の教材などに最適です。

- △・カセットテープ(C-40 2本)
- △・ポケット星座早見
- ト・カラー星座カード12ヶ月(12枚)
- 内・カラー全天星座図
- △・四季の星座ガイドブック(B6判48頁)

天文年鑑1980

●天文年鑑編集委員会編/B6判・450円発売中

誠文堂新光社

東京都千代田区神田錦町1-5
振替東京7-6294 電話03(292)1211